

○募集要項○

募集人員：内科 5名

(予定) 耳鼻いんこう科 5名
 麻酔科 2名
 整形外科 4名
 乳腺外科 5名

選考試験：(1)方法：面接および小論文（事前提出）

(2)日時：令和7年10月中を予定

(3)場所：滋賀県立総合病院

(4)願書受付期間：令和7年9月1日(月)～定員になり次第終了

身分：シニアレジデント（滋賀県会計年度任用職員）

給与：研修医の身分による報酬

1年目月額 おおよそ 428,000 円に諸手当別途支給

健康保険：有り(社会保険加入)

当直：約 2～3 回/月(翌日勤務は 11 時で終了)

休暇：週休 2 日、夏季休暇 6 日、年末年始各 3 日、
 年休 1 年目 10 日、2 年目 11 日

住居：職員宿舎あり(病院まで徒歩 3 分)

※希望者多数の場合は入居いただけない
 場合もあります。

1K、(面積:26.40 平方メートル)、
 使用料月額：約 7,200 円～ (共益費別途)

○病院見学○

実施時期：随時

受付方法：下記フォームよりお申し込みください。
 見学日およびスケジュール等調整します。

問合せ・申込み：総合病院レジデントセンター

Mail resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp

TEL 077-582-8034(総務課直通)

○専攻医在籍状況(令和7年4月時点)○

※内科専門研修プログラムにて6名協力施設にて研修中。

「-」は当院に基幹プログラムがない診療科です。

	当院基幹	他院基幹
血液内科	0	0
糖尿病・内分泌内科	0	1
消化器内科	2	2
呼吸器内科	1	1
脳神経内科	2	0
循環器内科	1	1
免疫内科	2	2
腎臓内科	4	1
外科	-	1
呼吸器外科	-	2
脳神経外科	-	0
乳腺外科	0	0
整形外科	-	2
泌尿器科	-	1
耳鼻いんこう科	0	1
皮膚科	-	0
麻酔科	0	1
形成外科	-	1
眼科	-	2
放射線治療科	-	0
産婦人科	-	1
小児科	-	1

1日で1～2つの診療科の見学ができます。

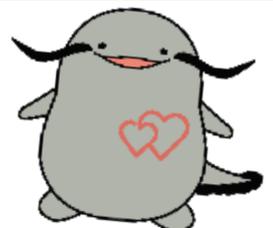


○アクセス○



滋賀県立総合病院
 Shiga General Hospital

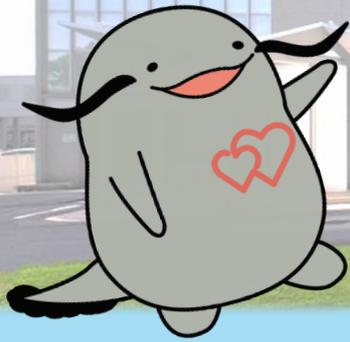
〒524-8524
 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
 電話 077-582-5031
 当院ホームページ <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



2026年度

滋賀県立総合病院

専攻医募集要項



診療科

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、免疫内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、老年内科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、精神科、救急科、小児科

当院基幹プログラム

・内科専門研修プログラム ・耳鼻いんこう科専門研修プログラム ・麻酔科専門研修プログラム
・整形外科専門医研修プログラム ・乳腺外科専門医カリキュラム

各プログラム連携施設

【内科】

滋賀医科大学医学部附属病院、大津赤十字病院、彦根市立病院、近江八幡市立総合医療センター、済生会滋賀県病院、高島市民病院、公立甲賀病院、国立病院機構東近江総合医療センター、長浜赤十字病院、済生会守山市民病院、京都大学医学部附属病院、国立研究開発法人国立循環器病研究センター、天理よろづ相談所病院、日本赤十字社和歌山医療センター、高槻赤十字病院、北野病院、医仁会武田総合病院、独立行政法人国立病院機構京都医療センター、赤穂市民病院、京都民医連中央病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、京都桂病院、学校法人大阪医科薬科大学、大阪医科薬科大学 三島南病院、大阪公立大学医学部附属病院、大阪府済生会茨木病院、大阪赤十字病院、福井赤十字病院、京都市立病院

【耳鼻いんこう科】

大津赤十字病院、京都大学医学部附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター、大阪赤十字病院、倉敷中央病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、関西電力病院、北野病院

【麻酔科】

京都大学医学部附属病院、大津赤十字病院、市立大津市民病院、医仁会武田総合病院、京都桂病院

【整形外科】

京都大学医学部附属病院、大津赤十字病院、長浜赤十字病院、市立長浜病院、福井赤十字病院、京都桂病院、京都市立病院、京都医療センター、洛和会音羽病院

【乳腺外科】

京都大学医学部附属病院、大津赤十字病院、長浜赤十字病院、近江八幡総合医療センター、済生会滋賀県病院、滋賀医科大学附属病院、JCHO 滋賀病院

- 病床数…635床
- 医師数…145名、指導医数…52名
- 1日平均外来患者数…1047名
- 1日平均入院患者数…367名
- 1日平均救急外来患者数…20.8人
- 1日平均救急車搬送患者数…11.8人

※医師数：令和7年4月時点 他：令和6年度実績

医学生・初期研修医の皆さんへ

滋賀県立総合病院総長・病院長 足立 壯一



当院は滋賀県唯一の県立病院であり、都道府県がん診療連携拠点病院として、成人病センター時代から、がん、虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病など各分野の専門医、指導医が在籍しており、高度医療を行ってきました。2021年4月からは総合病院として救急専門医を招聘し、数多くの救急症例（昨年度の救急車受け入れ台数は3700台以上です）も経験できるようになっています。

2025年1月には、小児保健医療センターと統合し、数多くの小児症例の手術、診療を総合病院で行うこととなります。

また、今年度からは若手医師の教育プログラムの充実を目的として、京都大学や滋賀医科大学の医師によるゲノム医療講義を開始しており、意欲のある若手医師には当院臨床研究センター所属の医師（京都大学本庶佑研出身の基礎研究者）による演習（実際にデータベースにアクセスして、ゲノム解析を行う）も予定しています。

当院の専攻医には、日本の医療を支えるリーダーに育ててほしいと心より祈念しています。そのためには、臨床医として患者さんやご家族に寄り添い、常に最先端の医療知識を身に付け、科学的な視点でものを考える、Physician scientistも目指してほしいと思います。是非、当院で我々と一緒に働きましょう。

内科専門研修プログラム

プログラム責任者 中村 敬哉



当院は都道府県がん診療連携拠点病院であり、がんについて豊富な症例と数多くのセミナーを経験できます。がんに関する教育、予防、診断、治療、緩和ケア、支援体制も充実しています。

虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病などがん以外の生活習慣病についても、各分野の専門医や指導医が在籍しており、予防から侵襲的治療までを幅広く、深く経験することが可能です。

その他の内科疾患についても、研修手帳に定める70疾患群を網羅的に研修することが可能です。多職種によるチーム医療も活発に行われています。

当院での研修を活かし、今後さらに重要性が増す生活習慣病の subspecialty の専門医として、あるいは幅広い知識・技能を備えた generalist の内科専門医になれるよう頑張ってください。

本プログラムは、当院を基幹施設として、滋賀県湖南医療圏、近県の医療圏の連携施設で構成されています。専攻医は、超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じて柔軟性のある地域の実情にあった実践的な医療も行えるように訓練を積んでいただきます。研修期間は、連携施設での1年間の研修を含めた3年間の原則です。

耳鼻いんこう科専門研修プログラム

プログラム責任者 藤野 清大



当院は滋賀県湖南医療圏の中核的病院として地域の高度医療を担ってきました。耳鼻いんこう科については、耳、鼻、咽喉頭、頭頸部腫瘍と全領域において症例数が多く、専門医取得に向けて十分な症例が経験できます。2017年からは頭頸部腫瘍をより重点的に治療する目的で頭頸部腫瘍センターを開設し、口腔外科、形成外科、放射線治療科、緩和ケア科と協同で遊離皮弁を用いた再建手術などの高度な手術や放射線治療を含めた集学的治療をより円滑に施行できるような体制を整えました。これにより滋賀県の広い地域から頭頸部腫瘍の患者さんが集まるようになりました。

またこれまで当院は成人の患者さんを治療しており、小児の患者さんは隣接する滋賀県立小児保健医療センターで治療を行っていましたが、2025年からは両院が合併し、全年齢層の患者さんを治療出来るようになります。

当院の耳鼻咽喉科専門研修プログラムは、4年の研修期間のうち概ね2年を当院で、1年を京都大学医学部附属病院で、1年をそれ以外の病院で研修してもらうこととなります。手術は極力執刀してもらっており、外来診療も1年目から担当してもらいます。まず経験してもらうことをモットーに、どんどん現場で修練を積んでもらいます。今までの例では専門医取得に必要な経験症例数4年分を、概ね2-3年で充足できています。是非当プログラムに入ってくださいよう、意欲のある方の応募をお待ちしております。

麻酔科専門研修プログラム

プログラム責任者 疋田 訓子



当院は滋賀県における都道府県がん診療連携拠点病院であるため外科系ほぼ全ての診療科が揃い、小児保健医療センターとの合併後は小児症例も充実しています。幅広い症例や心臓血管外科をはじめとするさまざまな緊急手術を担当するとともに、全身麻酔だけでなく脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔、神経ブロックなどさまざまな麻酔法を実践を通じて学び、どのような症例でも対応できる麻酔科医の育成を目指しています。専門医取得に必要な産科症例は連携施設にて研修し、希望に応じて移植外科手術（肝移植、肺移植、腎移植）、小児開心術などの高度医療における麻酔はプログラム連携病院である京都大学医学部附属病院にて研修することが可能です。

サブスペシャリティ領域においてペインクリニック部門では外来診療に加え、神経ブロックを中心に緩和ケアメンバーとして緩和医療に携わっており、希望者はペインクリニック外来を経験することができます。また当院における集中治療部を担当していることから研修後半においてはICU当直ローテーションにいただき術後症例や重症症例の集中治療を経験します。さらなる研修を希望される場合は集中治療専門研修施設との連携を行いローテーションに組み込むことができます。

これまでも当院から麻酔科医を志し、活躍されている先輩方が多くおられます。働き方改革に沿った勤務時間を可能な限り厳守し、充実した研修をお約束いたしますので1人でも多くの先生のお越しをお待ちしています。

整形外科専門医研修プログラム

プログラム責任者 宗 和隆



このたび当院にも整形外科の専門医研修プログラムを新設することになりました。2026年4月から運用開始を予定しているこのプログラムでは、当院を基幹病院として、滋賀、京都、福井の主要な急性期病院と連携しています。3年9か月の研修期間中、当院と京大病院、あともう一つの連携病院で研修してもらうことが標準的なローテーションになります。

どの連携病院を回るかは、なるべく本人の希望が通るように相談して決める方針です。

当院には股関節、脊椎、膝関節、小児整形の専門家が在籍していて、これらの分野については地域の信頼も厚く日々多くの患者さんが紹介されてきます。特に小児整形外科の手術を本格的に行っている病院は、京都大学整形外科学教室の関連病院の中でも現在当院だけになっています。現在日整会指導医8名、医学博士5名が在籍し、学会発表や論文執筆の指導も受けやすい環境になっています。一方、本プログラムの連携病院は3次救急を掲げる病院も多く、外傷症例を中心に執刀経験を積みやすい病院ばかりになっています。滋賀、京都、福井での研修を希望する方、股・脊椎・膝・小児に興味をお持ちの方、手術の腕を磨くことだけでなく臨床研究にも興味をお持ちの方に是非お勧めのプログラムです。

乳腺外科専門医カリキュラム

プログラム責任者 辻 和香子



本邦の乳癌罹患患者数はいまだ増加の一途を辿っているにも関わらず、乳腺専門医数は充足していません。当院は「滋賀乳腺外科専門医研修カリキュラム」の基幹施設であり、乳腺外科専門医の育成を行なっています。

「滋賀乳腺外科専門医研修カリキュラム」は外科専門医の取得と並行しながら乳腺外科専門医を目指すカリキュラムです。外科専門医の取得は「滋賀京都大学外科専門医研修プログラム」「滋賀医科大学外科専門医研修プログラム」と紐づいています。

本カリキュラムの連携施設には、京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学附属病院、大津赤十字病院、長浜赤十字病院、済生会滋賀県病院、近江八幡総合医療センター、JCHO 滋賀病院があり、連携施設での研修も可能です。

本カリキュラムでは、実臨床を行いながら、乳腺疾患の診察、検査、診断、処置、手術、薬物療法などの専門技能を身につけていただきます。指導医の立ち合いのもと、主治医執刀制で乳腺手術を担当していただいています。

また乳腺診療はチーム医療であり、形成外科と協力して乳房再建術や、放射線治療科と共に乳房温存療法や乳房全切除術後放射線治療を、腫瘍内科と相談しながら周術期を中心とした薬物治療を行なっています。臨床上の疑問や得られた知見について日本乳癌学会を中心に学会での発表を積極的行なっていただき、専門医取得に必要な論文作成の指導も受けることができます。

初期研修（2年間）を終了し乳腺外科専門医を希望する、やる気のある方の応募をお待ちしています。